

# 府県・夏播きサイレージ用とうもろこし

とうもろこしの作付面積が全国的に増加しており、特に府県暖地・西南暖地では、サイレージ用とうもろこしの晩播栽培や2期作栽培が試みられています。

## 夏播きとうもろこしの栽培ポイント

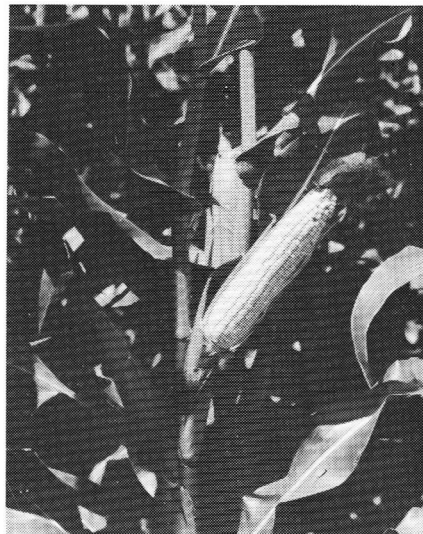
### ① 晩播の限界と適品種

	晩播の限界	適 品 種
関東地方(関東地方南部)……	8月上旬……	スノーデントA号またはバイオニアA号
暖地……	8月上中旬……	スノーデント1号またはバイオニア1号
九州(南部低暖地)……	8月上中旬……	スノーデント2号またはバイオニア2号

良質サイレージを調整するには、とうもろこしの糊熟期～黄熟期に収穫しサイロ詰めすることが第1条件で、早生品種を選ぶこと。

### ② 栽植本数と播種量 (10 a)

条播の場合	栽植本数	播種量
A号 ……………	約 8,000本……………	約 3 kg
1号 ……………	約 7,000本……………	約 2.7kg
2号 ……………	約 7,000本……………	約 2.7kg
散播(バラ播き)の場合……………		4～5 kg



晩播きの適品種バイオニア1号(黄熟期)

### ③ 土 壌 の 条 件

8月は降雨量が少なく、土壌は乾燥しやすいので、発芽および生育初期に十分に注意が必要。

- ◎ やや湿けのある土壌がよい。
- ◎ 播種後に牛尿を10倍位にうすめてタツプリ散布するなど、灌水可能な小面積に止める。

### ④ 施 肥 例 (10 a 当たり成分量)

チッソ10kg、リンサン12kg、カリ10kg

### とうもろこし・バイオニアA号(P3715)の播種期試験

神奈川県畜試成績書(昭52)より抜粋

播種日	収穫日	生育日数	収穫時の熟度	稈長	生草収量 (10a当たり)	乾物収量 (10a当たり)	TDN収量 (10a当たり)	1日当たり TDN収量 (10a当たり)
4月15日	7月30日	103日	黄熟期	204cm	6.95 t	1.69 t	1.17 t	11.4 kg
5月13日	8月12日	91日	〃	210	5.89	1.51	1.08	11.8
6月10日	9月2日	84日	〃	202	5.02	1.29	0.88	10.4
7月8日	9月21日	75日	〃	171	5.21	1.26	0.84	11.3
8月5日	11月8日	95日	〃	166	6.12	1.36	0.91	9.6